

私たちは、環境の保全に努め、地球に優しい企業活動をおこないます



エコアクション21 2011環境活動レポート

2012年7月1日発行

対象期間 2011年7月1日～2012年6月30日

発行者 専務取締役 山田浩之



地球と人にやさしい土木＝エンジニアリングを求めて

株式会社明豊建設

<http://www.meiho-co.co.jp>

環境方針

㈱明豊建設は人と自然との共生を図るため『環境の保全に努め、地球に優しい企業活動を行う』ことを基本理念とする。

以下の環境方針に基づき、全従業員が環境へ配慮した事業活動を行う

- 1 当社(㈱明豊建設)は、建設工事業務から生じる環境への影響を的確にとらえ、技術的、経済的に可能な範囲で、自主的・積極的に環境への取組を進め、継続的な環境保全活動を行う。
- 2 当社環境マネジメントシステムは、環境目標の達成、是正活動、内部監査、経営層による見直し等によって、環境保全活動の継続的改善を約束する。
- 3 環境に関連する法規制等を特定し遵守するとともに、汚染の予防に努めることを約束する。
- 4 環境方針の達成のために、自社が可能な範囲で環境目的・目標を掲げ、プログラムを策定し、環境保全活動を推進する。
- 5 環境マネジメントシステムは、内外の様々な変化に対応して、環境目標・目標を見直す手順を含む。
- 6 環境保全活動では、全社の活動を中心に、次の活動について重点的に取り組む。
 - (1) 資源を大切にすること。
 - (2) 廃棄物を削減すること。
 - (3) 燃料、電気を節約すること。
 - (4) 建設事業の環境への取組を効果的に推進するため、地域コミュニケーションを図ること。
- 7 この環境方針は、文書化し、全従業員に周知すると共に、一般の人にも公開する。

2010年2月1日

株式会社明豊建設 代表取締役社長

本庄浩二

もくじ

- 1 p... 環境方針
事業者活動の概要
- 2 p... 環境目標と活動計画の実施結果①
- 3 p... 環境目標と活動計画の実施結果②
- 4 p... 環境目標と活動計画の実施結果③
- 5 p... 環境目標と活動計画の実施結果④
- 6 p... エコアクション21 必須取組みの結果
二酸化炭素排出量及び廃棄物、水使用量
環境関連法規への違反、訴訟の有無
今後の環境目標

事業者活動の概要

・事業社名及び代表社名
会社名 株式会社明豊建設
代表者名 代表取締役社長 本庄浩二
住所 【本社】滋賀県長浜市加納町 394
【アスコン】滋賀県彦根市鳥居本町 2880
対象組織 本社
関連施設 アスファルト工場
関連事業所 明豊物産(株)

・事業規模
売上高 25 億円/年
従業員 47 名
敷地面積 本社 991.6m²
アスファルト工場 10,105.3m²
倉庫 317.4m²
資材置場 1,598.0m²
駐車場 3,183.6m²

・事業内容
建設工事、建設資材の製造販売
アスファルト合材、製造・販売業、種ゴケの生産

・環境保全関係の責任者等
環境管理責任者 企画営業部長 白石 昌之
EA21担当責任者 総務部課長 伊富喜義則
連絡先 TEL 0749-62-6580

環境目標と活動計画の実施結果①

電気を節約する

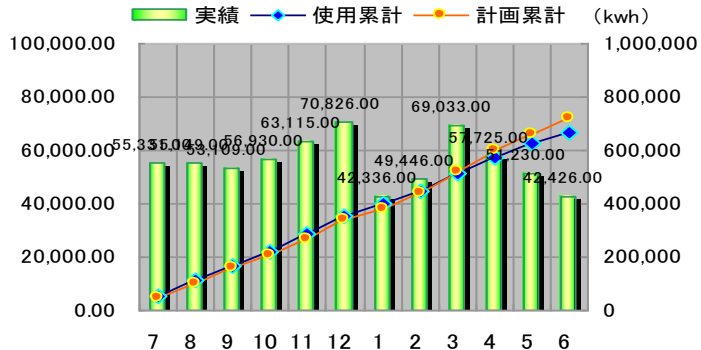
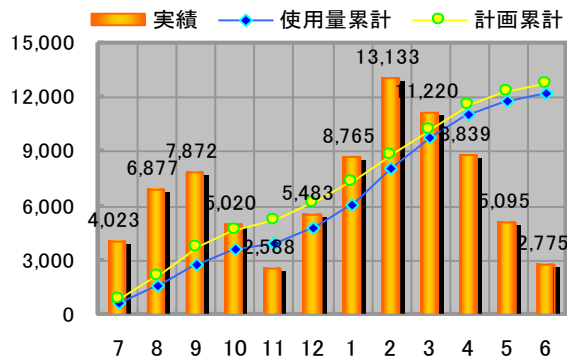
「無駄な電力を軽減する」このことを環境目標に掲げ、節電活動を展開する。

本社・建設他

08年度 78,795kwh
 09年度 77,141kwh
 10年度 83,414kwh
 11年度 81,690kwh (1,724kwh 減)

アスファルト工場

09年度 663,226kwh
 10年度 670,640kwh
 11年度 666,656kwh (3,984kwh 減)



コピー機の注意書きや、温度設定、消灯などの啓発。冷房・暖房の使用管理の徹底を心がける。

実施結果

本社、建設に関しては毎月目標をクリアし大変満足しています。アスファルト工場では出荷量との兼ね合いで計画的な削減は非常に難しい中、一年間を通して計画をクリアしてくれたことは皆さんの活動が活かされた証拠です。震災後の計画停電の余波の中、従業員一人ひとりが大変充実した結果を出してくれて改めて大変満足しています。

水の使用量を削減する

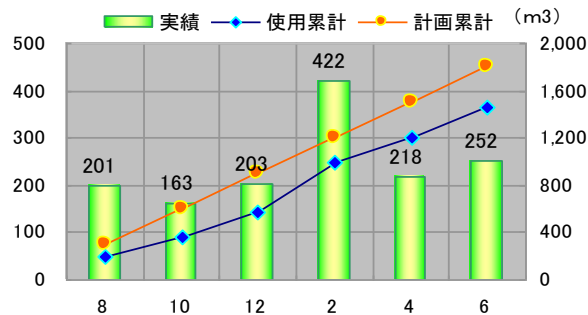
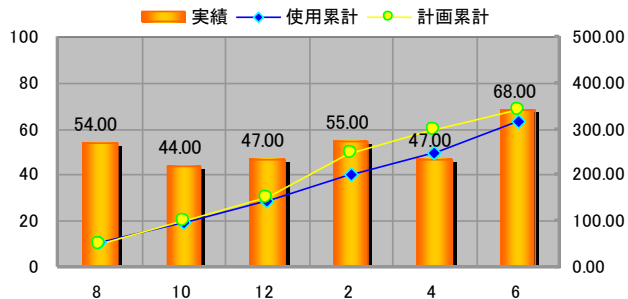
「環境負荷低減を目指す」このことを目標とし、水の使用量の削減活動を展開する。

本社・建設他

08年度 244m3
 09年度 354m3
 10年度 308m3
 11年度 315m3 (7m3 増)

アスファルト工場

09年度 1,541m3
 10年度 1,222m3
 11年度 1,459m3 (237m3 増)



「節水」のシールを、各所に貼り啓発。徹底した管理ができた。

実施結果

全体を通し、ほぼ毎月計画をクリアしており満足しています。しかし、前年度実績より上回る結果となったことは今一度活動の内容を精査する必要があるのではないかと考えます。特にアスファルト工場では散水などの影響で使用量が増えることがあり致し方ないが、新たな削減方法が期待される。

環境目標と活動計画の実施結果②

温暖化防止のため燃料の節約

業務活動において、使用するガソリンをチェックし、Co2の削減を目指す。下図はガソリンの推移グラフです。

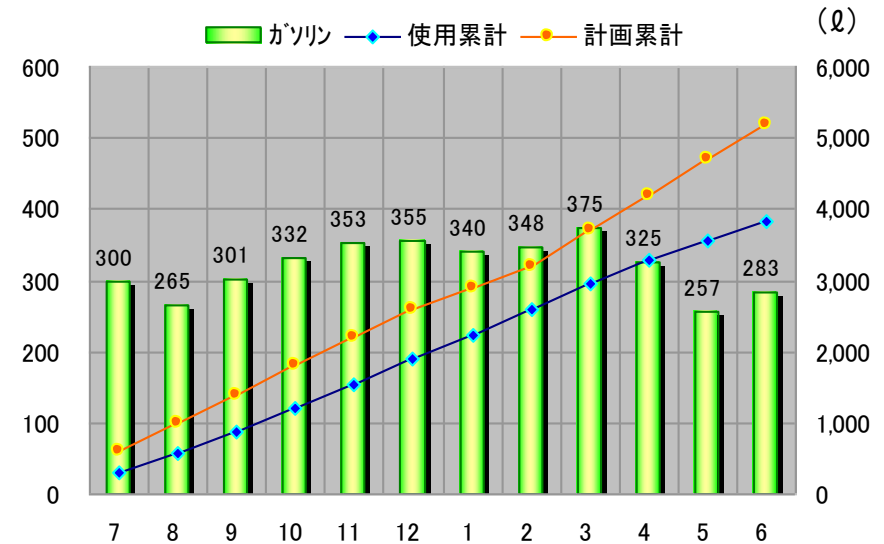
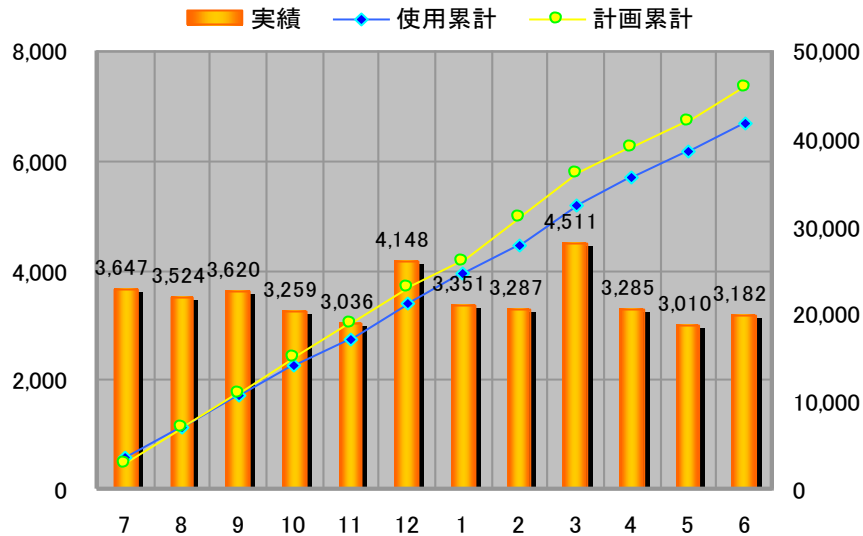
☆ガソリン☆

本社・建設他

08年度	40,026.38ℓ
09年度	35,963.87ℓ
10年度	40,180.42ℓ
11年度	41,859.20ℓ (1,678.8ℓ増)

アスファルト工場

09年度	3,605.04ℓ
10年度	3,862.32ℓ
11年度	3,833.17ℓ (29.1ℓ減)



☆灯油☆

本社・建設他

08年度	3,008.60ℓ
09年度	6,863.22ℓ
10年度	3,348.01ℓ
11年度	4,622.18ℓ (1274.17ℓ増)

☆軽油☆

本社・建設他

08年度	71,889.58ℓ
09年度	60,517.96ℓ
10年度	47,689.73ℓ
11年度	78,168.88ℓ (30479.15ℓ増)

アスファルト工場

09年度	614.16ℓ
10年度	388.10ℓ
11年度	427.01ℓ (38.91ℓ減)

アスファルト工場

09年度	12,615.70ℓ
10年度	11,323.00ℓ
11年度	13,016.00ℓ (1693.00ℓ増)

実施結果

温暖化防止による燃料の削減において全体的に計画をクリアしていることに関しては非常に満足できる結果となり喜んでます。燃費等に関しては変動費であるがゆえに、管理活動など非常に難しいところがあるが、従業員の意識は向上し結果に結びついたのではないのでしょうか。

ただ、前年度を上回る結果のところもあるので、今後一層の活動や管理を充実して頂き、温暖化防止に役立てていただきたい。特に燃料関係の削減はそのまま利益率に跳ね返る重要な経費であることを十分認識し、今後の活動に励んでいきたい。

環境目標と活動計画の実施結果③

廃棄物の削減

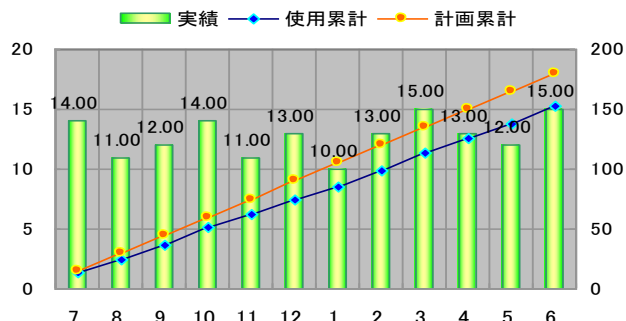
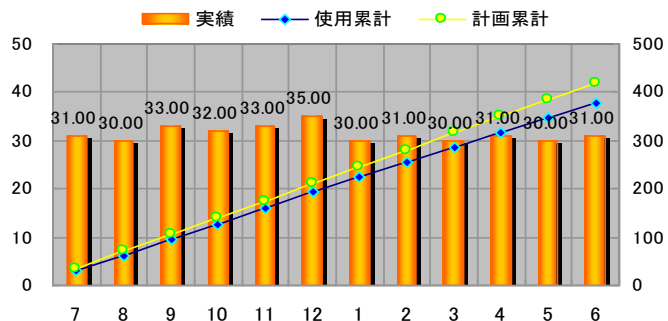
「事務所から発生する一般廃棄物を適切に分別し排出する」このことを環境目標に掲げ、業務活動から発生するすべての一般廃棄物を適切に分別、排出する。

本社・建設他

08年度 3,910kg
 09年度 2,904kg
 10年度 2,968kg
 11年度 3,016kg (48kg増)

アスファルト工場

09年度 1,256kg
 10年度 1,304kg
 11年度 1,224kg (80kg減)



張り紙などによる徹底した管理。社員にも十分浸透してきた。

実施結果

全体的に計画を大幅に下回り大変満足しています。
 一般廃棄物の排出量は、日ごろの廃棄物の発生を抑えることから始まっており、この活動も非常に重要となっています。

資源を大切に

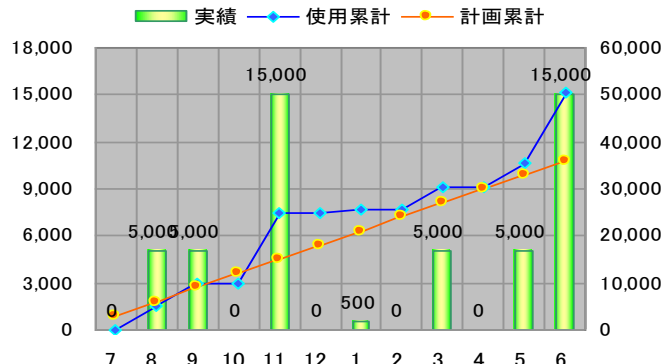
裏紙利用、社内ネットワーク、メール等を活用し、コピー用紙購入量の削減を目指す。

本社・建設他

08年度 200,000枚
 09年度 289,500枚
 10年度 280,000枚
 11年度 210,000枚 (70,000枚減)

アスファルト工場

09年度 38,000枚
 10年度 36,000枚
 11年度 50,500枚 (14,500枚減)



裏紙利用は定着されたので、今後は購入量の削減を目指す。
 コピー代金を貼紙し、無駄遣いをしないよう啓発。

実施結果

従業員皆さんの裏紙利用の活動は十分に結果につながり年々使用量が減り大変満足しています。
 今後も更なる活動の充実に期待しています。

環境目標と活動計画の実施結果③

地域住民との環境コミュニケーションを図る

「地域住民と共に環境について考える場を設け、社会的イメージアップを図る」、このことを環境目標に掲げ、部門長により工事作業所を決定し、作業所を主体とした地域社会との環境コミュニケーションを図るため環境教室を開催し、共に環境について学ぶ。



監視記録

工事名：日野川広域河川改修工事

テーマ：「河川工事と初夏の川原と水ウォッチング」

参加者：近江八幡市小田町 自治会の皆様（約 50 名）



＜プログラム内容＞

- ①当日は雨のため、工事現場にて開会宣言。
- ②自治会館へ移動し、現場担当から工事の説明。
- ③環境マスターから、昨今話題となっている、原子力発電の必要性や水害に対する心構えなどの講演。
- ④レクリエーション
 - ・ミネラルウォーターと名水百選にも選ばれた「居醒の清水」の飲み比べ体験
 - ・肌の水分量を年齢チェッカーを使って測定
 - ・エコバック作り予め用意されていた無地の手提げ袋に、染色用のクレヨンで自由に絵を描いてもらい、それにアイロンをかけて、贈呈。（アイロンをかけると色が定着し洗っても落ちなくなるというもの）

皆々が、思い思いの絵を描かれ、うれしそうに持ち帰って下さいました。



実施結果

当日は天候が微妙な中、自治会の皆様の大勢の参加や、協会青年部の参加の元、大変充実した活動プログラムを開催することが出来たことは本当に満足しています。特にこの小田地区では、過去の川の氾濫により多くの犠牲を払ってこられたエリアであり、工事に関する興味は高かったと思われ質問なども活発に行われたことは大変印象に残っています。このように工事とは、我々建設業と地域住民、行政がともに利害を共有し完成させるものであると考えます。よって、この環境教室はその部分に十分に貢献できるアイテムとして今後も活発に開催していきたいと考えます。

エコアクション21 必須取組みの結果

二酸化炭素排出量及び廃棄物、水使用量

項目	目標	結果		達成状況	2012年度目標値
電気使用量の削減	前年比1%削減	実績/目標 = 748,346/746,513(kwh)		99.8% ×	740,863kwh
水の使用量を削減	前年比1%削減	実績/目標 = 1,774/1,861(m3)		105% ○	1,756m3
廃棄物の削減	前年比1%削減	実績/目標 = 4,240/4,229(m3)		99.7% ×	4,197m3
資源を大切にす	前年比1%削減	実績/目標 = 260,500/312,840(枚)		120% ○	257,895枚
二酸化炭素排出量の削減	前年比1%削減	実績/目標 = 303,918/300,713(kg-co2)		98.9% ×	300,879kg-co2
地域コミュニケーションを図る	アクションプログラムの実施	開催あり		— ○	開催する
項目	2009年	2010年	2011年	2012年度目標値	
二酸化炭素排出量の推移	299,202kg-co2	303,751kg-co2	303,918kg-co2	300,879kg-co2	

環境関連法規への違反・訴訟の有無

当社事業活動に当たり、遵守しなければならない環境関連法規、条例及びその他の規制を整理し取りまとめ、違反や訴訟の有無を評価しました。

- ・騒音規正法：特定施設、作業実施の届出。無騒音機械の使用、規制基準の遵守。
- ・振動規正法：特定施設、作業実施の届出。無振動機械の使用、規制基準の遵守。
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法：廃棄物の適正処理。
- ・建設リサイクル法：材料の再利用、廃棄物の減量、及び適正処理。
- ・資源の有効な利用の促進に関する法律：再生アスファルト、再生骨材の使用等。
- ・水質汚濁防止法：関連施設の届出、排出基準の遵守、現場での汚濁水発生の届出。
- ・建設副産物適正処理推進要綱：建設副産物の抑制に努め、発生の際は再利用。
- ・消防法：防火管理及び火気使用設備の消防署への届出。
- ・建設機械に関する技術指針：排ガス対策型建設機械の使用。

以上、特に環境関連法規、条例について違反や訴訟はありませんでした。また、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

今後の環境目標

12年度、環境目標と実施計画

- ・電気使用量の削減：年間の使用量を前年比1%削減する。
 - ・水の使用量の削減：年間の使用量を前年比1%削減する。
 - ・廃棄物の削減：年間排出量をごみ袋換算し、前年比1%削減する。
 - ・資源を大切にす：コピー用紙の購入量を削減する。前年比1%削減する。
 - ・二酸化炭素排出量の削減：排出量を前年度比1%削減する。
 - ・地域コミュニケーションを図る：13年度「アクションプログラム」を行う。
- ※全ての項目で中期計画として今年度より3%の削減。

代表者によるコメント

全体を総じて活動も充実し、目標も概ねクリアし充実した一年となりました。震災後、特に環境負荷に拘わる事項は当社だけでなく日本全体の宿命として次年度以降も活動を行っていかなくてはなりません。従業員一人ひとりが今まで以上に更に意識を持ち、全社一丸となって環境活動に邁進していきたいと考えます。